

令和5年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：宮崎県

農業委員会名：串間市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2年7月20日

任期満了年月日 令和5年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	15	13
認定農業者	—	8
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	1
40代以下	—	0
中立委員	—	0

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	15	15	3

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	928
農業経営体数	734

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	1,332
女性	578
40代以下	224

	経営体数(経営体)
認定農業者	324
基本構想水準到達者	41
認定新規就農者	30
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,490	1,450	0	0	0	2,940

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	2,940 ha	1,195 ha	40.6 %
課題	・農業者の高齢化・離農による担い手不足 ・未相続農地の点在や土地持ち非農家による農地の分散 ・農地中間管理事業や貸借契約等への消極化		

② 目標

農地の集積の目標年度	令和5 年度	集積率	80 %
今年度の新規集積面積	1,157 ha	農地面積(C)	2,940 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	2,352 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	80.0 %

③ 実績

今年度の新規集積面積	25 ha	農地面積(F)	2,940 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	1,220 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)/(F)	41.5 %
目標に対する達成状況(H)/(E)	51.9 %		

農業委員会の 点検結果	各委員が戸別訪問を実施し、貸借契約の促進及び利用権設定等の作成支援を行ったが、目標達成には至らなかった。
----------------	--

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	39 ha	0 ha	39 ha
	・農地の悪条件を改善するための基盤整備等の未実施		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	0.0 ha

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	48.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	市担当課及び関係機関とともに、遊休化の要因や農地への影響を踏まえ、新規参入者等への耕作地として復旧するため、条件整備が可能な遊休農地の選定を今年度は判断する。	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0.0	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	0.0	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	現地確認等により黄色区分から赤区分へ移行し非農地判断の取組は実施してきたが、黄色区分全体の解消に向けた工程表の策定には至っていない。
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年8月－9月		令和5年9月－10月	
	1号遊休農地の面積	37.7 ha	うち緑区分の遊休農地	0.0 ha
			うち黄区分の遊休農地	37.7 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年10月		令和6年3月	

農業委員会の点検結果	悪条件の遊休農地は引き受け手がおらず、解消指導に苦慮している。また、サツマイモ基腐病等の影響により、主要品目の担い手不足が深刻化している。
------------	---

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者
	0 経営体	1 経営体	1 経営体
	0 ha	0.2 ha	0.3 ha
課題	・研修等の受け入れ体制の未構築(経営継承等含む) ・新規就農者へのあっせん候補地が脆弱(特に土地利用型農地希望の場合は農地点在のため)		

②目標

権利移動面積	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
	321 ha	325 ha	147 ha	264.0 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	26.4 ha			

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		37.8	ha
公表URL	https://www.city.kushima.lg.jp/main/business/cat2/cat5/post-619.html	(その他の公表方法)	
目標に対する達成状況(B)/(A)		143.2	%
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	4	経営体
	取得農地面積	5.4	ha

農業委員会の点検結果	農政担当課と連携し、通年を通して農地相談等における支援調整を行った結果、4件の新規参入者を確保した。
------------	--

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	12	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	13	人
			農地利用最適化推進委員の人数	15	人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	4	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
令和5年5月-6月	農地の集積	未契約農地の貸借契約促進・農地中間管理事業の推進等に伴う戸別訪問
令和5年11月	遊休農地の解消	戸別訪問による解消指導及び耕作あっせん
令和5年12月	農地の集積	農地中間管理事業推進及び再契約推進(貸借契約満了)に伴う戸別訪問
令和6年1月	新規参入の促進	新規参入者への貸付等可能農地確保に伴う現地調査(面的・団地化等検討)

②実績

活動強化月間の設定回数	4	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
令和5年5月-8月	農地の集積	農地中間管理事業推進及び再契約推進(貸借契約満了)に伴う戸別訪問
令和5年10月	農地の集積	未契約農地の貸借契約促進・農地中間管理事業の推進等に伴う戸別訪問
令和5年11月	遊休農地の解消	戸別訪問による解消指導及び耕作あっせん
令和5年12月-令和6年1月	新規参入の促進	新規参入者への貸付等可能農地確保に伴う現地調査(面的・団地化等検討)

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和6年1月	相談会名	新規就農相談会
参加者数	2人	開催場所	宮崎市
相談会の内容	新規就農者の意向把握・農地あっせん		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

②実績

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和5年10月1日	相談会名	みやざき就農”応援”相談会2023
参加者数	1人	開催場所	宮崎市
相談会の内容	・新規就農相談会(就農に伴う補助事業説明・営農品目紹介)		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

目標の達成状況の評語

目標に対して期待を上回る結果が得られた

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	3
目標に対し期待を上回る結果が得られた	19
目標に対して期待どおりの結果が得られた	6
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	0